



無党派  
松崎淑子

災害にまけないまち、狛江市に  
水害避難と親子共に安心できる災害対応

**問** ①災害時指定避難所の収容人数が絶対的に不足だが、対応をどう考えるか②水害の場合垂直避難の観点から、ハザード地区でも校舎を開放し避難所とすることの検討は③移動困難者の移動についてコマバスなどの利用は考えられるか④災害時のこのまのころのケアについての研修は⑤学校時保護者が引き取りできない場合の対応は⑥下校後発災した場合、学童保育所とKOKOAの対応は。

**答** ①できる限りの公共施設を開放。浸水想定区域外の親類・友人等の家に一時避難も一つの手段②校舎等の避難所指定を進めていく③コマバスの活用は有効な手段④関連した研修等は紹介する⑤学校で待機させる⑥保護者には一斉メールで連絡し、原則引き渡しまで保育。状況により自宅まで送り届ける。

次世代につなぐ環境  
地球温暖化と化学物質に真摯に向き合う

**問** ①来年7月に予定されている国のレジ袋有料義務化の狛江市方針は。

②プラスチックごみは今後10年間で25%削減目標だが狛江市環境基本計画での市民啓発は。③主催イベントでのプラスチック削減施策は。④マイクロプラスチック問題について市の見解は。⑤柔軟仕上げ剤などの新たな化学物質過敏症が問題となっているが、香害の対策状況は。⑥洗剤の香りが苦手な児童の学校生活での対応は。

**答** ①国と都の動向を見極めながら検討。②多様な機会を活用し市民に周知していくことで、プラスチックごみ削減を啓発。③こまエコまつりでリユース食器を導入。④深刻な問題であると認識。⑤公共施設等に配慮を促すチラシを掲示。⑥専用の給食用白衣を貸与。



自由民主党・明政クラブ  
谷田部一之

台風19号による災害対策

**問** ①調査委託の結果をどのような形で報告するのか②被災者に向けての下水道使用料減免や消毒による補助金は出せないのか③垂直避難を含めて避難所の全ての早期開設と内水ハザードマップの改正は④貯留施設・浸透施設の設置について見解は⑤多摩川越水対策のために土手のかさ上げは必要ではないか⑥多摩川グラウンドを復旧するための財源及び砂利の除去は。

**答** ①進捗状況に応じてホームページや広報等により公表②被害を受けた世帯等について下水道使用料を減免予定。床上部分の消毒については助成を行う③早めの態勢づくり、避難所開設に努める。内水浸水の想定区域図を作成することも必要④専門家による浸水原因の究明委託の中で検討⑤かさ上げ等が必要なのは国と認識を共有⑥国補助を活用、積算中。除去して敷均(しきならし)する。

新しい時代に、新しい狛江を

**問** ①和泉多摩川ほか広場の今後は市はどのように考えているか②和泉多摩川駅近くの東和泉4丁目地域は第一種低層住居専用地域となっているが何故か③和泉多摩川地域活性化のためにこの地域を第一種中高層住宅専用地域に変更すべきだと考えるがどのような手続きをすればよいのか④学校支援地域本部モデル事業について、狛江第五小学校のみが取り組んでいる状況だが市の見解は。

**答** ①陳情を踏まえ、多摩川の玄関口にふさわしい緑あふれるイベント広場として活用②用途地域等に関する指定方針及び指定基準による③広く意見を伺いながら上位計画とも整合する必要がある④従前からの地域の取り組み実績を尊重しつつ、先進事例を参考に充実に向け検討。



自由民主党・明政クラブ  
太田久美子

命を守る災害対策  
災害時医療・保育について

**問** ①本市で唯一の災害拠点病院である慈恵医大第三病棟の建替えとヘリポート設置を進めるよう提案してきたが、病院とどのような話がされてきたのか②潜在看護師の把握をどう進めていくのか③トリアージ訓練をどう想定しているのか④トリアージ訓練を防災センターや避難所でも実施してはどうか⑤災害が起こっても仕事を休めない保護者もいるが災害時保育はどのように行うのか。

**答** ①関連部門等を交えて意見交換。計画は決まっていない②総合防災訓練のアンケートで把握。協力していただける方、避難所の保健衛生班の方と調整が必要③医療関係者以外にもトリアージを知ってもらうことは必要。関係部署と検討していく④各施設での保育が基本。命の危険な場合は預かる子どもの数を確認し、応急保育体制を整える。

危険な通学路・交差点の安全対策について

**問** ①子どもたちの通学路や移動経路の安全を確保するよう国からの通知を受けて市はどう対応したのか。②子ども自身が事故から自分を守るよう上級生が通学路の危険箇所を下級生に周知する取り組みをどうするか。③中和泉1丁目5番地の交差点は開通当初から危険が指摘され、市は警視庁に信号機設置を要望してきたが進展がみられない。事故が起る前に設置すべきと思うが市の考えは。

**答** ①各施設への情報提供や施設からの危険箇所情報収集など、移動経路の安全確保に向け取り組んでいる。②上級生が模範的な行動ができるような指導を引き続き行っていくよう学校に伝えていきたい。③新規設置は難しいと回答頂いている。それに変わる交通安全対策を調警察署と協議のうえ、対応している。



自由民主党・明政クラブ  
辻村ともこ

聴覚障がい者6団体の切実な要望について

**問** ①市は「台風19号市民説明会」に手話通訳、要約筆記をつけたか②全ての避難所に手話通訳、要約筆記、字幕付きテレビ、手書きLEDボード配置を③市報に合理的配慮の改善を④町会自治会にSNS電子回覧板配置を⑤市民総合体育館を福祉避難所に検討を。

**答** ①配置しなかった②手話通訳、要約筆記は当事者や手話通訳者等の意見を伺い担当等と協議調整。字幕付きテレビ、LEDボードを順次配備③二次元コードの掲載を検討していく④導入に向け関係部署と連携・検討⑤水害時の緊急避難場所として活用できる。

狛江市政発展の為に重要事項への進捗状況について

**問** ①喜多見駅狛江市側改札口復活要望の進捗②若戸北七差路交差点信号機設置要望の進捗③電中研内防災公園設置要望進捗④駅ストリート・ピノ継続要望進捗⑤国際姉妹都市提携要望進捗⑥歴史博物館建設要望進捗⑦芝生のグラウンド提携(慈恵医大) 要望進捗。

**答** ①市民意見を参考に検討していきたい②設置時期前倒しを警視庁と調整③地区計画の変更等に注視し検討していきたい④実施について検討していく⑤有効性認識。具体的進展は無い⑥策定中の前期基本計画素案で言及⑦提携の構築に向けた環境整備に努めている。

「婚活支援について」

**問** ①日本は男性4人に1人、女性7人に1人が生涯未婚だ。大変危惧すべき事態。市の婚活事業への考えは②都や近隣市との広域連携は有効か③那須塩原市、朝日村、松山市を視察。参考にできるか④市長の考えは。

**答** ①少子化、高齢などにも関わり重要な視点②広域自治体である都との連携は重要と認識③本格展開していく際の有効な手法として考慮④公民の強みを活かし、相乗効果を出しながら事業展開について検討を進める。



自由民主党・明政クラブ  
三角たけひさ

台風19号農業者支援・農業の方々から希望を持って営農継続できる総合的な対策

**問** ①被災した農家並びに農業被害の現状について②ハウス等農業施設損壊に対し、新たな支援は③パイプハウスは避難施設となりうる。都市農業の持つ多様な機能と観点から、狛江の農業振興を推進するため、恒久的な支援を講じていくような検討はできないか。

**答** ①農地の浸水被害は5件、農作物への影響もあつた②被災農業者支援型の交付金はあるが、今回は該当なし③農業団体からの要望も踏まえ、恒久的な支援策を検討していく。

さまざまな人々に支えられた第三中学校における避難所運営：明日へのメッセージ

**問** ①第三中学校では、3、4階を生徒の避難場所として指定。なぜ体育館に避難所を開設し受け入れたか②避難所の対応現状と課題は③ホームレス受入拒否狛江市の所見④学校の危機管理体制と校長先生の役割は⑤学校再開に向けて取り組み状況は。

**答** ①校舎開放に時間を要し、準備が整うまで体育館に誘導した②偏りがあったため特定の避難所に集中しないように工夫が必要③受け入れ拒否はあつてはならないこと④学校安全計画及び危機管理マニュアル作成、学校対応の総理⑤帰宅困難者への対応と機材やごみの片付け等、地域の方等にも協力いただいた。

外国籍の子どもの就学支援

**問** ①外国人の子ども教育の現状と就学状況について。

**答** ①未就学なし。②文科省の調査内容・質問項目は。取得、就学案内、就学促進等。